

2020年3月26日（木曜）

## 全労金2020春季生活闘争ニュース・第12号

【全労金2020春季生活闘争統一スローガン】  
なくそうハラスメント！増やそう賃金！求めよう安心して働き続けられる職場！

### 全労金は第3回中央闘争委員会を臨時開催し、 各単組の交渉・協議状況を踏まえ、 今後の進め方を確認しました！

3月26日現在、全労金2020春季生活闘争は、3単組（中央・沖縄・静岡）が基本合意を判断し、11単組が交渉・協議を続けています。

その様な状況の中、全労金は第3回臨時中央闘争委員会をWeb会議にて開催し、各単組の交渉・協議状況を共有するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による職場・組合員への対応を最優先としつつ、今後の進め方を確認しました。

#### ◎単組の交渉状況では、複数の金庫・事業体から前向きな考え方が示されています！

中央闘争委員からの報告では、「統一要求課題」である「基本賃金の改善」に対し、すでに合意した単組も含め、改善に前向きな考え方が示されているのは、正職員が5単組、嘱託等職員が8単組となっています。同じく「一時金」については、昨年実績以上の考え方が示されているのは、正職員が10単組、嘱託等職員が9単組となっています。

また「個別要求課題」については、「最低賃金の引上げ」や「育児に伴う所定労働時間の短縮措置を小学校就学以降へ拡大」等について、単組の要求主旨を踏まえ、多くの単組で前向きな考え方が示されています。

一方で、労働組合の要求に対し、厳しい姿勢を堅持する金庫・事業体も少なくありません。労働組合の要求に応えられないとする金庫・事業体の多くは、「新型コロナウイルス感染症の影響による決算見通しの難しさ」を挙げています。しかし、「新型コロナウイルス感染症」による情勢変化は、労金業態だけに発生しているわけではありません。加えて、労働組合からの要求を真摯に受け止め、厳しい経営環境ながらも、職員への2020年度の奮闘を期待したメッセージとして、要求に前向きな考え方を示している金庫・事業体があることも事実です。

全労金2020春季生活闘争は大詰めを迎えており、単組闘争委員会は連日、金庫・事業体と交渉・協議を重ね、満額回答に向けて全力で闘いを続けています。組合員のみならず、単組が発行する春季生活闘争ニュースを注視し、交渉・協議の状況を共有するとともに、単組闘争委員会を後押しすべく、要求実現に向けた想いを伝えましょう！

### ◎第3回臨時中央闘争委員会では、今後の進め方を確認しました！

第3回臨時中央闘争委員会では、単組の交渉・協議状況、並びに、新型コロナウイルス感染症への対応状況を踏まえ、今後の進め方を確認しました。

単組闘争委員会は、今後、3月末に向けて、交渉・協議で引き出した回答の輪郭を基に、基本合意・妥結を判断することになります。その際は、全労金2020春季生活闘争方針で掲げた「すべての職員がお互いを思いやり、労金業態で働くことに自信と誇りを持つことができる組織風土に改革する」ことに繋がる回答内容であるかが判断のポイントになります。職員が2020年度の業務にやりがいや働きがいを持って臨むことができるかどうかは、春季生活闘争をどのように解決を図ることができるかが重要です。職員がいきいきと働き続けることができる職場は、そのまま金庫・事業体の発展に繋がるとともに、私たちの職場を守ることに繋がります。

### ◎第131回中央労使協議会小委員会にて、全労金の申し入れに対する考え方が示されました！

全労金は、3月25日、第131回中央労使協議会小委員会を開催し、2月26日に労金協会に申し入れした「子の看護休暇・介護休暇の時間単位取得の早期導入」「奨学金制度利用者への支援」について、労金協会と協議しました。

協会からは、「子の看護休暇・介護休暇の時間単位取得の早期制度導入については前向きに検討していく。奨学金制度利用者への支援については、申し入れ主旨は理解しており、前向きに検討していくが、具体的な支援内容については議論が必要だと認識していることから、協議していくということを回答で示していきたい」との考え方が示されました。全労金は、労金協会から前向きな考え方が示されたことを踏まえ、早期の導入に向けて協議を開始するとともに、3月31日開催の第132回中央労使協議会では、回答書を受理することを想定します。

どちらの申し入れ事項も、単組を通じて全労金に挙げられた組合員のみなさんの声から申し入れたものです。全労金は、第132回中央労使協議会后、スピード感を持って、労金協会と具体的な制度設計について協議を進めていきます。

※ 次号は3月30日(月)に配信予定です。

以 上

【全労金2020春季生活闘争統一スローガン】  
なくそうハラスメント！増やそう賃金！求めよう安心して働き続けられる職場！